

プレスリリース

「SMT 業界の M2M 連携について」

一般社団法人 日本ロボット工業会では、電子回路基板製造装置及びその関連ソフトウェアを製造する事業者が製造装置間の通信方法に関して共同で規格を策定していく活動をパナソニック株式会社、富士機械製造株式会社、ヤマハ発動機株式会社、JUKI 株式会社等の会員企業をはじめとした下記18社と開始いたします。

I o T (モノのインターネット) の活用が広がるなか、異なるメーカーの装置間の情報活用を円滑化し、製造ライン全体の生産や保守の効率化などにつなげます。規格の策定手順や取りまとめの時期などの詳細は今後検討します。

回路基板の製造ラインには、異なるメーカーの装置が複数稼働している場合が多く、メーカー間で通信ルールが異なるため、生産情報の連携が難しかった。通信方法の標準化により情報の活用をしやすくして I o T の導入に対応するほか、製造ライン全体の稼働状況の可視化や保守の効率化などにつなげます。

実装ラインに設置されたさまざまな製造装置間の通信ルールを標準化することで、企業の垣根を超えた実装システムを構築し、実装業界の発展に貢献してまいります。

オムロン株式会社

小松電子株式会社

株式会社サキコーポレーション

千住金属工業株式会社

株式会社タムラ製作所

株式会社ナガオカ製作所

名古屋電機工業株式会社

パナソニック株式会社

富士機械製造株式会社

マイクロニックテクノロジーズ株式会社

マランツエレクトロニクス株式会社

武蔵エンジニアリング株式会社

ヤマハ発動機株式会社

ワイエス株式会社

CKD 株式会社

JUKI 株式会社

KOH YOUNG TECHNOLOGY INC

Parmi CO., LTD

五十音順

本件問い合わせ先

(一社) 日本ロボット工業会 技術部